

[6638/5A-136-002]

Ver.5

5.免疫学的検査 >> 5A.免疫グロブリン>>5A136 免疫電気泳動[免疫固定法](ADIRA) ダラツムマブ用

免疫電気泳動[免疫固定法](ADIRA)

ダラツムマブ用

immunoelectrophoresis(ADIRA: antibody-drug-specific immunofixation reflex assay)

連絡先 PHS 6799

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

6638

001

免電泳(DIRA)

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

多発性骨髄腫の治療薬であるダラツムマブを投与しているIgG κ 型多発性骨髄腫の治療効果判定としてのみ
ご依頼ください。

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダ イテスト	
注	80 外
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
IFE(DIRA)	
	
血液	*_*_*_*_*-51004
中検外S	**_*_*_*_*_*
C6	6ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

2026/01/08

11:10

[6638/5A-136-002]

Ver.5

5.免疫学的検査 >> 5A.免疫グロブリン>>5A136 免疫電気泳動[免疫固定法](ADIRA) ダラツムマブ用

免疫電気泳動[免疫固定法](ADIRA)

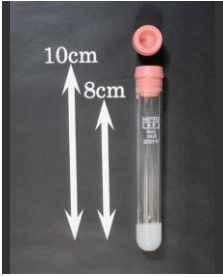
ダラツムマブ用

immunoelectrophoresis(ADIRA: antibody-drug-specific immunofixation reflex assay)

連絡先 PHS 6799

採取容器・検査材料

01	C6	凝固促進剤+血清分離剤(ピンク)	
採取材料	血液	採取量	6 mL
遠心分離		遠心	
測定材料	血清	測定必要量	0.4 mL



採取容器について

検体採取について

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件1	冷蔵	28日				

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

[6638/5A-136-002]

Ver.5

5.免疫学的検査 >> 5A.免疫グロブリン>>5A136 免疫電気泳動[免疫固定法](ADIRA) ダラツムマブ用

免疫電気泳動[免疫固定法](ADIRA)

ダラツムマブ用

immunoelectrophoresis(ADIRA: antibody-drug-specific immunofixation reflex assay)

連絡先 PHS 6799

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器	
検査所要日数	4～6日
検査部門・委託先	外部委託（エスアールエル）
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	

検査結果報告について

基準値設定材料・検査方法

基準値設定材料	血液
検査方法	抗体薬特異的免疫固定反射測定(ADIRA)

生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
00	免疫電気泳動[免疫固定法](ADIRA)	***	***	(単位なし)

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

 免疫固定法を用いたM蛋白の検出は、多発性骨髄腫やALアミロイドーシスにおいて診断・治療効果モニタリングのために有用な検査である。ヒト型抗CD38モノクローナル抗体 ダラツムマブ(遺伝子組換え)は非常に有効である反面、ダラツムマブを投与した患者では、IgG κ型のM蛋白とダラツムマブを免疫固定法で見分けることができなかった。

 本検査では、抗ダラツムマブ抗体を用いてM蛋白とダラツムマブを免疫電気泳動上で鑑別し、M蛋白のみを正確に検出する。多発性骨髄腫においては、国際骨髄腫ワーキンググループ(IMWG)におけるCR(完全奏功)の判定および再発の評価として用いることができる。

異常値を示す病態・疾患

2026/01/08

11:10

[6638/5A-136-002]

Ver.5

5.免疫学的検査 >> 5A.免疫グロブリン>>5A136 免疫電気泳動[免疫固定法](ADIRA) ダラツムマブ用

免疫電気泳動[免疫固定法](ADIRA)

ダラツムマブ用

immunoelectrophoresis(ADIRA: antibody-drug-specific immunofixation reflex assay)

連絡先 PHS 6799

参考文献

東真理子ほか. 多発性骨髄腫治療薬「ダラツムマブ」の蛋白分画検査への影響について. 医療検査と自動

McCudden, Christopher *et al.*. Monitoring multiple myeloma patients treated with darat

山田俊幸. 臨床検査によるM蛋白血症の診断と評価. 臨床検査. 2014, vol. 58, no. 13, p.1569-1578.

エスアールエル 検査要項

JLAC10

分析物	5A136	免疫電気泳動(特異抗血清)
識別	0000	
材料	023	血清
測定法	086	免疫電気泳動法(Immunofixation法)

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2023/07/19	2023/04/26～	新規作成, KINGオーダーリング開始
2	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
3	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定
4	2024/12/27	2024/11/01～	診療報酬変更
5	2024/12/27	2024/12/07～	項目名称・保存安定性日数・検査方法・所要日数変更

2026/01/08

11:10